

第8回



健康寿命を
のばそう!
AWARD
優良賞

受賞者名

静岡県

取組タイトル

難聴児の早期発見と健やかな成長に向けた静岡県の取組み
～新生児聴覚スクリーニング検査後の支援体制の構築に向けて～

所在地 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号

電話 054-221-3309 ウェブサイトURL なし

取組課題 基盤課題A「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策」
基盤課題C「子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり」
重点課題①「育てにくさを感じる親に寄り添う支援」

取組・事業の概要と特徴

背景とこれまでの取組の経緯

静岡県では、難聴児の早期発見と早期介入の体制整備のため、平成11年に県立総合病院が主体となって「静岡県聴覚障害児を考える医療と保健福祉と教育の会」が発足され、医療・行政・教育関係者による検討が始まりました。

県行政としては、平成13年度以降、「新生児聴覚検査検討会」(以後協議会となる)を開催し、「新生児聴覚スクリーニング検査と事後対応マニュアル」の作成を行うとともに、平成22年度に「静岡県乳幼児聴覚支援センター」を設置し、難聴児の早期検査体制の整備や、保護者の支援等を行ってきました。また、平成28年度以降は、「分娩取扱い機関に対する検査機器購入費用の助成」や「市町における公費助成制度」の創設に向けた支援を行い、平成30年度から、県内全ての市町において新生児聴覚スクリーニング検査の公費助成が行われるようになりました。

検査体制が整う中、検査受診率の更なる向上や、検査実施後の要精密検査者への受診支援や早期治療、親支援の一層の充実が求められるようになり、静岡県乳幼児聴覚支援センターにおいて新たな取組を開始しました。

新たな取り組みと成果

- 人工内耳装用への早期支援の取組開始：「きこえを育む親子教室」を開始し早期からの支援、月齢別と合同教室を開催。集団による保護者不安軽減や児への具体的接し方の指導を始めました。(参加者の内70.8%が1歳未満)
- 巡回相談の開始：従来の乳幼児聴覚支援センター相談に加え、各地域に出向いた巡回相談を行い相談支援を受けやすい環境づくりに努めました。



親子教室の様子



- 市町保健師等向け研修会や技術支援：研修会の開催や市町保健師等への継続支援を促しました。

～難聴児や保護者の変化や声～

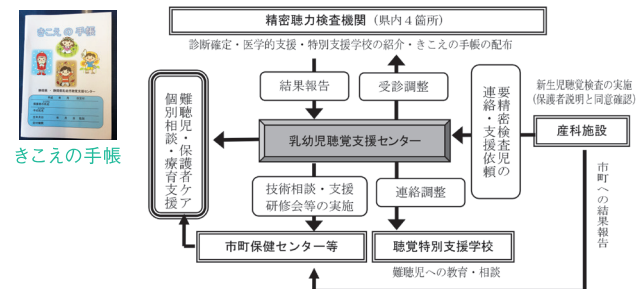
- 親子教室参加後子どもが自分から友だちや先生、他のお母さんたちのところへ寄っていき関わりを持とうとする姿が見られるようになり親の安心につながった。
- 言葉のかけ方など具体的な助言が勉強になる。日常の中で子どもへの言葉かけを意識するようになった。お母さん方との交流が増え、合同教室では大きいお子さんの様子が見られて励みになった。

～市町保健師の取組の変化～

- 助成券発行により要精密検査者の把握がされるようになり、その後の精密検査機関への受診率向上につながった。

課題と今後の展開

- 新生児聴覚スクリーニング検査や要精密検査の未受診者をなくし、全ての難聴児が早期に適切な治療や支援が受けられるよう乳幼児聴覚支援センターや市町、医療機関の連携をより一層強め、受診勧奨や適切な医療機関への紹介を行っていく必要があります。
- 難聴児やその保護者が適切な療育支援を受けられる環境を整えるため、専門の言語聴覚士の育成や参加しやすい療育教室の見直しが必要です。



医療・保健福祉・教育関係者の会